

綱領

- 一、我等は同朋相愛の理想に違ひ識見の開発、技術の進歩、徳性の涵養を圖り以て自己の向上と完成を期す。
- 二、我等は労働者の自主的組織と訓練に依り労働条件の維持改善並共同福利の増進を期す。
- 三、我等は國情に立却し、資本主義の根本的改革を圖り以て健全なる新社會の建設を期す。

日本労働總同盟(ルセイユの譜)

- 一、起てよ、日本の労働者、時は來れり
因襲の夢より醒めて、黎明に輝く
組合旗の下に起て
資本專制の世、打ち破りて
正義と愛の社會をもちたせ
折(あゝ團結の、威力もて
怒)進め、進め、未來は我等がものぞ
二、苦闘茲に十餘年、起てり總同盟
先驅ある其の歴史、洋々たる其前途
戦士の任また重し
浮薄輕佻の蹟、打ち斥けて
毅然と歩む、大衆の行く道
(折返し)
三、見よや世界に滿ち直る、同志の威力を
同じ理想を目かけ、己が持場につき
憂きと喜びを共に分つ
憂き友誼の絆に結ばれて
(折返し)

巻頭言

日本の労働組合運動の礎石を築いた總同盟、古くはリンチカリスム、或る時はコンミニズム今日はまだフワシズム等の思想的激流に要はれたる日本の労働運動を常に正しき道に導き來つた總同盟、此の輝き日本労働總同盟も、長い間、奮闘、中間派、エクリ組織等より石涅清視されて來た。

然しながら、國亂れて忠臣出で、天啓にして才士出ず。のみならず、滿洲問題發見以來、無言階級運動が異常なる多難期に遭遇するや、實質なき組合は空言空論に成り、或は轉向する等の態度を露呈してゐる中に獨り我が日本労働總同盟のみは眞を爲すの光りを呈しつゝあるのである。

總同盟ならでは、との聲は労働者階級は勿論、凡ゆる階級を通じて、その運命を争ひの中から起つて居り且つこの聲は日一日と廣く深く浸透しつゝあるのである。

苟もよし、此の秋に於て我が大阪聯合會大會が開催されるのである。我等は總同盟の運動方針に一層の確信を深めると共に、これを實踐行動の上に如何に具體化するべきかを本大會に於て徹中審議しなければならぬ。

そして、今日の精神的信頼を、實力的信頼に應へ得るまでに組織を擴大強化する爲めの來るべき一年間の指針としなければならぬ。
金剛石も磨かずんば光無し。

西尾末廣